

地震等の大規模災害の時は家族の一員である動物達と一緒に避難できるよう、
今から準備しておきましょう！

明日来るかもしれない大災害に備えて ペットのために準備すべき、7つの Point!

1 最低限のしつけが大切です

家族の一員として避難生活を一緒にするため、日頃から最低限の基本的な「しつけ」をしましょう。「オイデ」・ケージトレーニング・人や他の動物たちに馴らす等、地域の方に安心していただけるよう、「良い子」にしましょう。また、犬は、県条例で放し飼いが禁止されています。猫も可能であれば、首輪・リードに慣らしておくとう便利です。排尿排便も、できるだけ決められた場所で出来るようにしておきましょう。



2 所有者明示が大切です

住所・電話番号を書いた首輪・迷子札・犬であれば鑑札・狂犬病予防注射済票など身元がわかるものを必ず着けましょう。将来的にはマイクロチップを検討しましょう。



3 動物は原則として室内で飼育できるように考えましょう

避難所や仮設住宅に入ったときに、他人に迷惑をかけないために、動物は室内で飼育できるようにケージトレーニングしておきましょう。



4 健康管理を行いましょ

日頃から大切な動物が伝染病に罹らないようにするために、犬も猫も定期的に各種ワクチン接種を受けておきましょう。また、動物の健康保持や行動面でのメリットを考え避妊・去勢手術を受けましょう。詳しくは掛かり付けの獣医さんにご相談下さい。

5 動物用避難用品を確保しておきましょう

餌・水(3日~7日分位)・食器・引き綱(リード)・ペットケージ・糞等の汚物処理用具・ペットシート・予防注射の記録などの健康記録・常備薬等、何時でも持ち出せるように準備しましょう。



6 動物避難場所を確認・確保しましょう

避難経路を日頃の散歩コースに入れておきましょう。又、緊急時に、親類・知人・動物病院など、動物を一時的でも預かってもらえる場所を確保しておくとう安心です。

7 ご近所内でペットの輪を広げましょ

町内でお散歩仲間を積極的に作りましょ。日頃から、自助・共助の気持ちをつなげましょ。防災訓練へもペットを連れて参加すると良いでしょ。仙台市避難所運営マニュアルの中には「ペット連れ避難者への対応」が明記されております。ペットを飼っている人も飼っていない人も、みんなで乗り切る環境づくりに努めましょ。



いざ、何かが起こってからではなく、何も無い今だからこそ、
皆さんのご家族に合った防災マニュアルを作ってみてはいかがでしょうか。

NPO法人エーキューブ、アニパル仙台

(仙台動物管理センター)では、各種ご相談に応じます。

一緒に乗り切ろうとするときには、人も動物もがんばれると思います。

アニパル仙台 (仙台市動物管理センター)

NPO法人 エーキューブ

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町6-3-3

TEL 258-1626 FAX 258-1815



ペットの特徴が良く解る
写真を貼りましょう



ペット情報カード

お願い

飼い主が傍らにいない時には
動物を安全な場所に避難させてください
このカードとペット用避難袋も
一緒をお願いします
大切な家族です
ご協力をお願いします

年 月 日作成

NPO法人エーキューブ・アニマル仙台

動物の名前	種 類	不妊去勢 済 ・ 未	
マイクロチップ登録No.		鑑札登録番号(犬)	
年 齡	歳	性 別	体 重
年 月 日	生まれ	♂ ・ ♀	kg
狂犬病予防注射接種日(犬)		混合ワクチンの時期・種類	
年 月 日		年 月 日	種混合ワクチン
性格・性質		フィラリア予防 月から 月まで 陰性 ・ 陽性	
身体の特徴			
現在の病気・怪我・薬・処方食等			
飼い主の名前		自宅電話番号	
住 所		携帯電話番号	
		災害時連絡先	

※災害時にペットを動物救護所等に預ける時に必要な情報カードです。
予備を準備して家族で携帯しましょう。